

2019年度事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人石西礁湖サンゴ礁基金

1 事業の成果

本年度末に、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、沖縄県・石垣市等の要請で行われた、島外との往来やイベント開催の自粛により、当初予定していた事業の一部を中止または延期とした。

調査研究・モニタリング等事業では、平成30年度に続き、WWF ジャパンと協働して「サンゴ認定制度構築へ向けての調査研究」を行った。地球環境基金フロンランナー助成を受け、外部専門家を含めての調査・研究ミーティングを行ったが、3月に予定していたフォーラムは延期し、第4回調査・研究ミーティングはメールでの意見交換とした。

攪乱要因除去事業のうち、「農地からの赤土・栄養塩等流出防止」では、パインアップルの施肥量を削減し、サンゴの生息に悪影響をもたらす海水の富栄養化を抑えることを目標に、パインアップルの施肥効率の検証を、専門家の協力を得て行った。

「環境保全型農業の推進」では、農地の末端への防風林の形成を目指して植えたツバキ苗の育成管理を行った。成長後は、防風林や赤土流出対策の効果のほか、種から油を搾り収益を得ることも期待している。

広報啓発事業では、「石垣港みなとまつり」「石垣島まつり」のほか、沖縄県主催の「エコライフ沖縄」等において、石西礁湖の現状・自然再生の必要性・当法人の活動等について、住民等の理解を深めるための活動を行った。

サンゴ礁ウィーク登録イベントとして3月7日開催を予定していた「畑と海をつなぐサンゴのまつり」は、崎枝公民館と共に三者共催の一者「石垣島をもっと元気にするプロジェクト（芝浦工業大学学生）」が大学の方針に従い来島を断念したこと、石垣市教育委員会が休校は行わなかったものの生徒達の外出を自粛する要請を行ったことなどから、中止とした。

環境教育では、市内3高校の高校生を対象として、サンゴ礁保全のための赤土対策の必要性と手法等について、外部講師を招き、講義と実験を行った。うち、八重山高等学校では、講義は3回に分け、2年生全員240人が参加し、放課後に希望者を対象として実験を実施した。

小中学生を対象とする環境教育を行う団体を支援し、小学生を対象とするサンゴの学習、中学生を対象とする生物多様性の学習を行った。また、主に小学校でサンゴ学習を行う「わくわくサンゴ石垣島」と協力し、自分で書きこんで完成する補助教材「サンゴのWAKU-WAKUワークブックを」を作製した。

高校における環境教育及びワークブックの作製は、沖縄しまたて協会令和元年度NPO等活動支援事業の助成を受けて行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費の 金額 (千円)
攪乱要因除去事業	オニヒトゲ駆除 (実施しなかった)	—	—	—	—	0
	農地からの赤土・栄養塩等流出防止	2019年7月～ 2020年3月	—	2人	農家、住民、観光客等多数	702
	環境保全型農業の推進	2019年4月～ 2020年3月	石垣島内農地	2人	農家、住民、観光客等多数	0
良好な環境創成事業	実施しなかった					
持続可能な利用に関する事業	実施しなかった					
調査研究・モニタリング等事業	サンゴ認定制度構築へ向けての調査研究	2019年4月～ 2020年3月	石垣市内	5人	住民、観光客等多数	2635
広報啓発事業	地域イベント等における広報啓発	2019年7月～ 2020年3月	石垣市内会場等	20人	住民、観光客等 300人	67
	地元小中高校生対象の環境教育と教材作製	2019年7月～ 2020年3月	石垣市内等	10人	地元小中高校生 371人	1169
その他目的を達成するために必要な事業	実施しなかった					

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	事業費の金 額 (千円)
物品等販売事業	実施しなかった				
イベント等開催事業	実施しなかった				
印刷物等への 広告掲載事業	実施しなかった				
商標等の提供 事業	実施しなかった				